

<北海道えりも高等学校>

1 本校の概要



昭和 24(1949)年に定時制課程として開校、昭和 62(1987)年に全日制に転課した、町立の普通科高校です。平成 16 (2004) 年から、えりも町立えりも中学校と「連携型中高一貫教育(連携型では、設置者が同一である道内唯一の中高一貫校)」を行っています。令和元(2019)年に創立 70 周年を迎えました。

町立高校のメリットを生かし、設置者であるえりも町の全面支援により

- ・生徒 5 人に教員 1 人のきめ細やかな教育
- ・検定や模擬試験の町による半額補助
- ・中学校スクールバスへの高校生混乗 などの様々な施策が行われ、卒業後は国公立大学への進学から地元への就職まで幅広い進路実現がなされています。えりも中学校の約 7 割から 8 割が本校に進学し、近年では様似町から進学する生徒もいます。

2 本校 P T A の事業計画および概要

- ・ 4 月 P T A 総会
- ・ 5 月 P T A 地区懇談会 (町内 3 地区)
- ・ 6 月 全道高 P 連参加
- ・ 7 月 学校祭への参加
(模擬店・行灯行列警備等)
- ・ 8 月 通学路草刈り・懇親会
- ・ 夏季～秋季 学校 P R ポスター製作
- ・ 12 月 P T A レク
- ・ 通年 P T A 通信発行・理事会等



P T A 活動に対しては保護者の積極的な参加があり、保護者と教職員の関係を深める取組が実践できています。地区懇談会については各地区の理事が中心となって運営されています。また、学校祭での模擬店出店 (益金は全て生徒会費に還元)、行灯行列準備や通学路草刈りといった環境整備にも協力的です。この協力体制が地域で生徒を育てる基盤となっていると言えます。

(写真は 上 : 70 周年記念事業の全校生徒・教職員人文字 下 : 平成 30 年の P T A レク)